

参加費無料  
事前申込不要



# 第4回社会福祉シンポジウム 若者と社会のつながりを考え直す

放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授

ゲスト講演 宮本みち子先生

すべての若者が生きられる社会を  
～家族・教育・仕事からの排除に抗して～

”失われた20年”のなかで、子どもから大人へのライフコースは個人化・流動化し、多様なリスクにさらされるようになりました。その実態に迫りたいと思います。人生の基礎固めをする時期にある若者がさまざまな事情から困難な状況におかれることを放置することはできません。誰もが社会に参加し仕事・家族・社会関係を築くことができる社会に向けて私たちはどうしたらよいかを考えます。

## 宮本みち子先生略歴



昭和22年8月長野県松本市生まれ

放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授。専門は、家族社会学、若者の社会学。若年層における非正規雇用問題、生活困窮者・貧困問題、社会的な孤立等の問題について、日本及び国際比較の研究に従事。国及び地方自治体の子ども・若者政策の立案や、全国の若者支援団体の活動に参与。

著書『若者が《社会的弱者》に転落する』（洋泉社）

『下層化する女性たち～労働と家庭からの排除と貧困～』（勁草書房）ほか多数。

## プログラム

### 1 基調講演

放送大学名誉教授・千葉大学名誉教授 宮本 みち子先生

### 2 パネリストによる報告

相模原市こども・若者未来局次長 菅谷 貴子氏

さがみはらパーソナルサポートセンター統括 大成 博之氏

### 3 質疑応答・ディスカッション

2018年10月20日(土) 13:00～16:00

相模女子大学 マーガレット本館3階2132教室

お問い合わせ

相模女子大学人間社会学部 中西 泰子

y-nakanishi@star.sagami-wu.ac.jp

主催 相模女子大学人間社会学部

後援 相模原市

相模原市社会福祉協議会

